

# ニュースレター

## 平成30年度 活動報告



# 目次

● つながりカフェ	2
● WOOD BURNING ウッドバーニング	3
● 本町名画座	4
● まちライブラリー@さくらいほんまちライブラリー	5
● ソラほんまちフェスタ2018	6
● 来迎寺への灯りの道	7
● 奈良県景観デザイン賞 2018「活動賞」受賞	8
● 空き家利活用	9～10
● Practical Study about Placemaking by Revitalization and Utilization of Vacant Houses Reflecting Local Architectural Culture	11～12
● 奈良県立奈良情報商業高等学校	13
● 関西中央高等学校	14
● 桜井市立図書館 指定管理者(株)図書館流通センター	15
● 本町通周辺の動き（新聞・雑誌記事）	16
● 本町通周辺の動き（「サクライクエスト」の開催）	17
● これからも	18

## ーつながりカフェー

### ☆つながりカフェとは？

桜井本町通りとその周辺の地域の人達を中心に、初めての方にも気軽に参加していただける機会としてスタートしました。

まちづくりの話をガッツリするのは気が引けるけど、この地域の人達とつながりたい、どんな活動をしているのか知りたいなど、初めての方にも協議会に関わっていただけるきっかけづくりの場ともなっています。

最近会った出来事や日頃感じていることなど、参加者全員がそれぞれの話をして、聞いて『つながり』をつくり、その『つながり』が少しずつ広がっていくことを目指しています。

### ☆これまでの開催状況

毎月第 1 火曜日 午後 7 時より『桜井本町たまり場』にて開催しています。

平成 23 年（2011 年）8 月よりスタートし、これまで（平成 31 年 3 月まで）に 90 回開催し、延べ約 1,100 人の方の参加がありました。

お茶・お菓子を食べながら、ワイワイ・ガヤガヤ、大人の井戸端会議的に楽しくやっています。（参加費を 200 円頂いています。）

なぜかは分からないけど、つながりカフェに参加すれば、元気をもらえる、息抜きできる、ホッとできるような場になればと思っています。

お気軽にお越しください。

レポート：福中 佐江子



## 「WOOD BURNING ウッドバーニング」

ウッドバーニング教室～毎月第3土曜日に開催中～



木材の街さくらいをイメージできる、木を使ったアート、ウッドバーニング。電熱ペンを使って木を焼き焦がし、その濃淡で絵や模様を描くアートです。絵画としてだけではなく、木工芸・生活雑貨などにも幅広く応用でき、誰でも気軽に楽しめます。

毎月第3土曜日午前におカモトオフィス&ギャラリーにて定例開催。日本ウッドバーニング協会の荒金クラフトマスターの指導により、楽しく始まっています。2018年ソラほんまちフェスタでは前年のフェスタに引き続き、体験会と共に生徒作品の発表展示もされました。最近では外国の方も参加され、国際色豊かな教室になっています。体験教室も同時開催していますので、是非、お立ち寄りください。



### 〈開催実績〉

平成30年4月21日(土)、5月19日(土)、6月16日(土)  
7月21日(土)、8月18日(土)、9月15日(土)  
10月27日(土) ソラほんまちフェスタイベント実施  
11月17日(土)、12月15日(土)、平成31年1月19日(土)、  
2月16日(土)、3月16日(土)

11月24日(土)には、田原本町生涯学習センターで開催された「体験型マルシェの饗宴」で出張講習を実施しました。



レポート：岡本 健





## 本 町 名 画 座

### 2018年度 鑑賞実績

4/18 バリーシール  
5/16 街の灯  
6/20 AI  
7/18 インターステラー  
8/15 美女と野獣（実写版）  
9/19 宇宙人ポール  
10/17 教授のおかしな  
妄想殺人  
11/21 ラストサムライ  
12/19 パイレーツ オブ  
カリビアン～最後の海賊～  
1/16 ある天文学者の恋文  
2/20 スタンドバイミー  
3/20 Mr.&Mrs.スミス

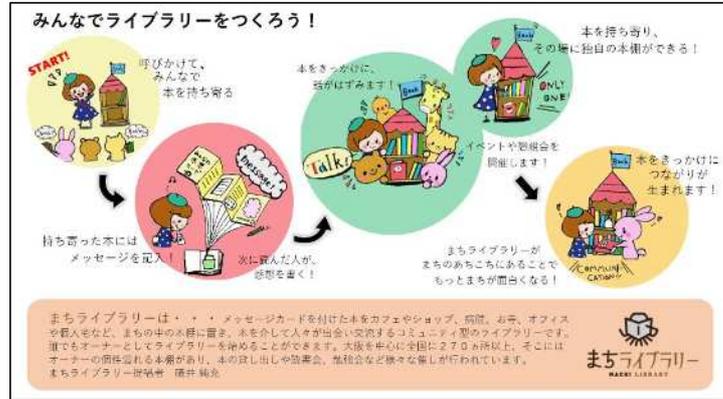
### 2019年度 鑑賞予定

4/17 選挙の勝ち方  
教えます  
5/22 メメント  
6/19 セルラー  
7/17 喜びも悲しみも  
幾年月  
8/21 インセプション  
9/19 女神の見えざる手  
10/16 ステイクアウト  
11/20 ひまわり  
12/18 チョコレート  
1/15 カメラを止めるな  
2/19 ブルームオブ  
イエスタディ  
3/18 かぞくわり

レポート：三宅 嘉彦



## まちライブラリー@さくらいほんまちライブラリー



本を通じて、人と人がつながる、新しいコミュニティ（まちライブラリー）を作りたいとの思いから始めました。

桜井市本町通・周辺まちづくり協議会事務所「本町たまり場」と桜井駅南口階段のセブンイレブン側階段下に、「本の巣箱」と呼ばれるの本棚を設けています。

皆さんが読んでもらいたい本、薦めたい本を持ち寄り、皆さん自身の手で作り上げるコミュニティ型の図書館を目指しています。

貴方が大切にしている、誰かに読み継いでもらいたい本をたまり場にお持ちください。

## 生き生き講座

1月23日開催 地域猫活動ってなんだろう？

3月15日開催 イスラム文化を学びませんか？



レポート：三宅 嘉彦

## ソラほんまちフェスタ 2018 with ハロウィン

桜井市本町通で2018年10月27日(土)、本町通り1丁目・2丁目・3丁目商店街主催、桜井市、桜井区、桜井市商工会の後援により第5回目の「ソラほんまちフェスタ 2018」を開催いたしました。

イベント当日は秋空が晴れ渡り、暖かい日差しのもと、晴れやかな一日となりました。

模擬店の来場者数は、ハロウィンをテーマにした効果もあり、子ども連れの家族が多く、およそ5000人、また奈良情報商業高校ブースの海産物販売のたまつえストアでは近隣の高齢者の方々が多く1000人近いお客様にお買い求めいただきました。三輪素麺工業協同組合のご協賛によるふるまい素麺や和太鼓の練り歩きもあり、大いに賑わいました。

模擬店など出店数45ブース、桜井の各団体や有志の方、商店街の皆さまなど手作り感覚で工夫のこらした食べ物や催しものを提供いただきました。新店舗の櫻町珈琲店やル・フルドヌマン櫻町吟も加わり、店頭は長蛇の行列になりました。恒例のおもちゃ病院も開院され、修繕され動いた瞬間の子どもたちの笑顔は忘れられません。

また、奈良情報商業高校のたまつえストアは生徒たちの実習・実践の場として磨きがかかり、海産物だけでなく、野菜・手作りアロマなども販売。広告チラシの企画から配布、仕入れ、販売、出納計算など商業高校生にとって手応えある場となったようです。2丁目の空き店舗には関西中央高校が本町通の店舗ヒアリングし、活性化案の手作り「ベンチ」登場、3丁目の空き店舗ではブックリサイクル、ウッドバーニング体験会、テーブルマジックショー、ふるまい素麺ブース、オリンピックを目指すプロロードレーサー吉田隼人選手の紹介コーナーも加わりました。

今回からハロウィンの時期に合わせて開催。お子様限定企画で商店に「かぼちゃ看板」が掲げられ、トリック・オア・トリートの呪文でお菓子を集める笑顔の子どもたちが走り回りました。1丁目の空き店舗では仮想メイクコーナー誕生、素敵な・怖い・かわいいハロウィンメイク、仮想したメンバーがあちこちで現れ、ハロウィンの雰囲気を盛り上げました。

一方、来迎寺では和の一と和太鼓、桜井南小学校の伝統ある金管バンドクラブが初登場。境内に迫力ある太鼓や金管バンドマーチが響きわたり、ご父兄ら聴衆の声援と一体となった場となりました。こうした試みは、小学生から高校生、若者など多彩なメンバーを巻き込みながら、活気ある桜井・地域活用と再生を狙ったイベントにもなりました。

今回来場した子どもたちにも同様に、楽しい恒例のイベントとなれば良いと想いを強くするとともに、桜井市本町通らしさ、空き店舗の活用、大学生・高校生など、次世代メンバーとの協働など中長期的な課題へのむ糸口を模索しながら引き続き活動を行っていききたいと思います。

昨年に引き続き、大盛況のうちにイベントを終えることができました。後援団体、協賛企業・協力者各位、そして実行に携わっていただいたすべての皆さまに心よりお礼申し上げます。

レポート： 岡本 健



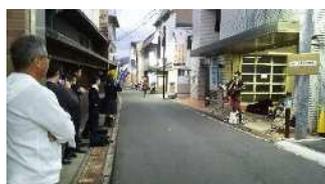
## 【来迎寺への灯りの道】 報告書

桜井本町通で2018年10月27日（土）に、本町通2丁目商店街主催の「来迎寺への灯りの道」を「ソラほんまちフェスタ 2018with ハロウィン」と同日開催させていただきました。

外山の和太鼓グループ「さくらい歌垣舞楽団 和の一と」による和太鼓の迫力ある演奏、境内の演奏前に、本町通で太鼓を奏でながらの練歩きをサプライズ演奏して頂きました。続いて、桜井南小学校金管バンドクラブによる子供たちの可愛らしい演奏を聞かせていただきました。

客席では、演奏の子供たちの保護者の方・学校の同級生・ソラほんまちの来訪者の方々が、大きな拍手を送って、にぎやかに楽しく盛り上げて頂きました。

来迎寺の外では、桜井市内の高校に通う現役高校生「ゆっちょ」さんによるフォークギター演奏があり、時間を気にすることなく演奏していただきました。



日が暮れる夕方からは、来迎寺の境内や堀沿いに「木のまち桜井」をアピールする木製の灯籠に火を灯し、重厚で趣のある来迎寺の建物と、かつては天誅組追悼のための藤堂藩陣屋になったという歴史的な背景を感じながら幽玄な世界を感じていただきました。

昨年から引き続き、またさらに幅広い世代の演奏者に出演いただくことで時空（とき）を超えた未来への繋がりを感じ取っていただけたかと思います。

この度、当企画の実行にご助力いただいたすべての皆様に心よりお礼申し上げます。



レポート：鍛冶本 達也

# 奈良県景観デザイン賞 2018「活動賞」を受賞しました

2019年2月末、5作品(知事賞・リノベーション賞・ランドスケープ賞・活動賞・建築賞・景観調和賞)の中から、当協議会とまちづくり会社が取り組んできたまちづくり活動が「活動賞」に選ばれました。この奈良県景観デザイン賞は、県の景観を魅力的にしている建築物や工作物などを設計、施工した人や活動に取り組む人の努力をたたえ、広く県民に景観に対して知ってもらうことを目的に2年に1度行われています。主催;(一社)奈良県建築士会。後援;奈良県・県市長会・県町村会。協賛;県建設業協会・県建築士事務所協会・日本建築家協会奈良会・なら建築住宅センター。審査委員長;長坂大(京都工芸繊維大学教授)を含む5名「建築家・作庭家・事業プロデューサー」によって選ばれました。授賞式には、2019年5月21日(火)岡本健氏が代表参加しました。

## 桜井本町地区(重点景観形成区域内)における「景観まちづくり&空き家利活用」プロジェクト

桜井市は、平成24年度に「桜井市景観計画」を策定し、重点景観形成区域として「本町通地区」および「桜井駅周辺地区」を指定し、旧伊勢街道沿いおよび桜井駅周辺に残る伝統的な町家や邸宅、「木のまち桜井」の近代化に貢献してきた木造モダニズム建築など、地域固有の歴史・文化を尊重し、その価値をより引き立てる景観の創出を目指してきた。また、平成30年度には「桜井駅周辺・本町通地区景観 景観ガイドライン」を策定し、景観デザインの意義と具体的な方向性・手法を示している。

一方、桜井市の景観計画策定に先駆けて、平成23年度に「桜井市本町通・周辺地区まちづくり協議会」が発足し、平成25年度から平成26年度にかけて、本町通1丁目・2丁目・3丁目の商店街のアーケードを撤去し、LED防犯街路灯・防犯カメラを設置し、空き店舗を利用したコミュニティ施設『たまり場』を創設し、来街者用の駐車場を改修するなど、安心・安全で、誰もが訪れやすいまちづくりを推進してきた。

平成28年度には「都市再生推進法人桜井まちづくり株式会社」が発足し、平成29年度に、町家形式の空き店舗「旧井田青果店」を再生・改修・修景し、コミュニティカフェ『第一弾;櫻町珈琲店』をオープンさせた。また、平成30年度に、木造モダニズム建築の空き家「旧京都相互銀行」を再生・改修・修景し、『第二弾;ル・フルドヌマン〜櫻町 吟〜』をオープンさせた。さらに、桜井市の地場産業である木材業を営む富田氏の邸宅を改修し、『第三弾;蔵の宿 櫻林邸』としてオープンさせた。富田邸は、本格的な茶室、日本庭園、蔵を要し、明治から昭和戦前にかけての桜井の木材業の隆盛を物語る貴重な数寄屋建築であったが、長らく空き家であった。

これらの建築物群の再生・利活用の試みは、将来にわたり、まちづくりや地域の景観をリードする建築物群であり、伝統的な街並みや歴史的景観に配慮し、他の規範となっている。

さらに、これらの建築物の企画・計画段階においては、奈良県立大学・大阪工業大学・摂南大学の教員・学生による精力的な調査・研究・ワークショップ・空き家利活用提案が行われ、平成27年度には「さくらいまちあるきマップ」「旧伊勢街道のまちなみガイド」が制作され、市民の景観デザイン意識の向上に寄与している。

なお、『ル・フルドヌマン〜櫻町 吟〜』の前身である「旧京都相互銀行」の設計者・建築年代については長らく不詳であり、その意匠・構造から大正時代の建築と推定されていた。しかし、近年の調査により、武田五一・亀岡末吉に師事した岩崎平太郎の設計による「吉野銀行桜井支店」であることがわかってきた。今後、有形文化財としての登録を目指した活動を展開していく。また、『蔵の宿 櫻林邸』は、木材業を営む富田氏が大阪市大正区に木場(貯木場)と貿易会社を所有していたことが判明しており、富田邸は明治から昭和戦前にかけて、一種のショールームの役割を担う、日本の伝統的な数寄屋建築にモダニズムの建築技法を重ね合わせた趣きを感じられ、関西の数寄屋建築としては他に類を見ない意匠が随所に見られ、後世に継承すべき文化財としての価値がある。

このように、『たまり場』『櫻町珈琲店』『ル・フルドヌマン〜櫻町 吟〜』『蔵の宿 櫻林邸』は、産・金・官・学・民の多様な意見を「桜井市本町通・周辺地区まちづくり協議会」および「都市再生推進法人桜井まちづくり株式会社」がまとめ上げ、先導して景観まちづくりを行ってきた結果であり、様々な工夫によって優れた景観を創出した全国的にも先進的な事例群であると言える。

### 第一弾 櫻町珈琲店

69

- <構造> 木造2階建て <OPEN>平成29年4月
- <延床面積> 85.51㎡ (1階:45.46㎡ 2階:45.46㎡)
- <整備方針> **住民アンケート調査で最もニーズが高かったカフェ**  
旧青果店をもともの町家形式に修景し、多世代が交流できる居場所の機能を有する町家カフェとして活用できる拠点として整備する
- <運営状況> **近隣の夫婦がカフェを運営 約40名/日**  
朝〜近隣シニア層、子育て主婦層 平成30年9月〜町宿の朝食会場  
昼〜近隣職域で働く人、来街者  
夕〜高校生、シニア女性層、団体貸切



### 第二弾 元吉野銀行桜井支店跡

71

#### → ル・フルドヌマン櫻町吟



旧京都相互銀行+来迎寺土塀+伝統的な町家+対面には金澤家3軒がある東→西向きに撮影  
・道路OUTサイドに位置  
・土塀との調和

駅から5分で本町通り入口から見える(西→東向きに撮影)  
・全面空地の活用も可能  
・伝統的な町家との調和

### 第三弾

74

#### 明治時代の材木商 富田邸 → 高級町宿 櫻林亭

材木商邸宅(町宿)



### 推進まちづくりビジョン実現のための方向性を共有し、具体的な事業実施の段階へ

78

- ・机上の議論→現場で実践→小さなことから成果の見える化
- ・見えてくると→必要な人が集まる→生業が生まれる



## 今後 空き家利活用計画（旧ONTO・ぜに宗、旧辻本花店）に関する指導

		講師（後藤教授・長谷見教授・林田准教授・大倉氏）からの指導・助言事項など ⇒	
1)	壁面線について	課 題	郡として前面の軒先が越境しており、前面道路の幅員が2.7m～3.0mである ほぼ延焼線がかかっている。
		着目点	ファサードを復元する⇒復元も意義があり、伝統的な扱い
		必要性	建築基準法適用以前の状態がどうであったかがわかる資料（写真）を探す
		対応策	道路幅員が2.7m以上あるのであれば、3項道路指定を受ける
		必要条件	建築審査会にかけると必要がある 例1；違法駐車場を無くす 例2；一方通行とする 例3；道路沿いの防災設備を充実させる
2)	間口が狭く奥行きが長い、裏の建造物の有効活用について	課 題	裏の建物が接道していないため改修・改築・新築できない
		着目点	火災は、裏から生じるため消防活動するスペースが必要である
		対応策	通り土間のある表面の建造物を耐震化し、安全な消防活動通路として取り扱う 準耐火は、現状で30分持てば良いと考えている ⇒内側からの火災で保持できる柱の断面寸法 ⇒外側から火災は気にしない ⇒川越の事例；表を耐震し、通り土間を裏へ行く通路として接道扱い
3)	建蔽率について	課 題	建蔽率オーバーしている
		着目点	隣地を取り込んで全体計画をしておく
		対応策	
4)	開口部について	課 題	旧井田青果店の事例；シャッターやアルミサッシにより防火面は向上したが、景観面では課題が残った
		着目点	入りやすい店にするためには、解放された開口部にする必要がある 若い女性が入りやすくするためには、用・強・美+可愛さが必要
		対応策	1年後に防火基準が新たに開発される 例) 木製建具+網入りガラスでOK 3年待てば防火基準が明確化する
5)	これからの道筋	着目点	重点景観形成区域内で残すべき建造物の明確化
		必要性	単体と郡を両面から検討する必要がある
		対応策	条例化

## ・助言を受け、これからの桜井本町地区の方向性

<p>これからの「公・民・学」連携要検討事項</p>	<p>記；桜井まちづくり(株)中尾七隆（ヘリテージM）</p>
<p><b>【要検討事項1】</b> 昔のまちなみ写真を探し、再生すべき景観ファサードを見出す</p>	
<p>もともとのファサードがどうであったのか？を調べる必要がある</p>	
<p>※1、※2 昭和初期（戦前）の写真（下写真参照）</p>	
<p><b>【要検討事項2】</b> 3項道路指定の必要性について、他事例から学ぶ必要あり</p>	
<p>目的と方向性；魅力ある狹隘道路環境を維持保全し、同時に防災性能を向上させていくこと</p>	
<p>歴史都市防災論文集Vol,12（2018年7月）より</p>	
<p>●参考事例1；「京都市道路の指定等に関する基準」2014年3月</p>	
<p>⇒京都市伝統的景観保全に係る防火上の措置に関する条例を制定</p>	
<p>⇒防火・準防火指定の解除と共に防火基準が定められた</p>	
<p>⇒防災に対する下地がある（私設消火栓の設置・防火訓練）</p>	
<p>●参考事例2；六原学区防災まちづくり会議より、2012年8月に発足、2015年3項道路指定</p>	
<p>⇒防災まちづくりマップの作成・防災まちづくり計画の策定</p>	
<p>⇒住民の合意形成の鍵となったことは、関係権利者が少なかったこと</p>	
	<p>←※1 あらやが映っている写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧辻本花店の東隣にある「当時のあらや」</li> <li>・旧辻本花店と共通していると思われる点は下屋が本葺で2階部分のペランダの手すり替わりの高さになっており、大屋根を低く見せている</li> </ul>
	<p>←※2 後岡薬局が映っている写真</p> <p>旧ONTO・ぜに宗と同じ本町通の南側沿いのファサードである下屋と大屋根の出と高さが揃っており、連続性があるのがわかる。したがって、旧ONTOを再生する際のファサードの参考になるとと思われる</p>
<p><b>【要検討事項】</b> 入りやすいファサードとは何か？を再検証し、景観ガイドライン（景観の手引書）</p>	
<p>を改訂し、のせる必要あり</p>	
<p>視点1 ⇒古くて新しいものを見つける</p>	
<p>視点2 ⇒ぱったり将棋、駒寄せ、ワンポイントの緑、うだつ等も可愛い要素である</p>	
<p>視点3 ⇒3年後に新たな防火基準が明確化されることから、今から3年計画で準備進める</p>	
<p><b>【要検討事項】</b> 技術的判断できる「歴史的建造物委員会（建築士会と学識経験者）」に委ねる</p>	
<p>ステップ1；対象建築物として、桜井の場合、登録有形文化財の他、過去の町家調査等を参考に歴史的風致形成建造物と同様な指定物（奈良市独自）に位置付けられるようにする。</p>	
<p>ステップ2；補助対象となる改修したい物件に対し、個別に保存活用計画（必要な工事の内容・安全性・維持管理面・周辺の環境の保全を図る事項）を他事例（京都市）も学びながら作成する。</p>	
<p>ステップ3；市長は、法3条第1項3号の規定に基づき、対象建築物を指定し、保存活用計画が交通、安全、防火、衛生上支障がないと認めるときは、保存建築物を登録する。</p>	

# Practical Study about Placemaking by Revitalization and Utilization of Vacant Houses Reflecting Local Architectural Culture

The number of vacant houses in Japan had reached to 8.2 million, and the ratio of these houses had arrived was at 13.5% in 2013. Vacant houses have increased continuously caused by aging and decreasing population drain particularly in provincial cities.

However, there are it is remained that many vacant houses which reflect local architectural culture.

In this study, practical inspections research about traditional houses and vacant houses in

Sakurai-Ward, Sakurai-City, Nara-Prefecture were conducted.

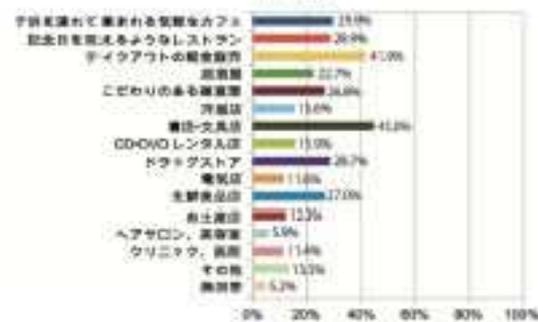
Visual survey of the exterior of all houses (1283 houses) was investigated performed in 2014, and it was clarified that there were 381 traditional houses (30%) which had with traditional design such as Udatsu, Yamatomune, etc.

Furthermore, 14 blocks in the area was could be classified into 4 types of as Scattered, Connected, Areal, and Others. (Fig.1 and 2)



Fig.1

Tab.1



図表1 (平成27年度住宅実態調査結果 1-1「住居の内外」(住居の内外) (単位:%)



Fig.3



Fig.2



Fig.4

Questionnaire for 1500 households residents was conducted in 2015 and it was clarified that shops dealing daily necessities, and community facilities were required. (Table.1)

The Guide Map of Townscape along the Old Ise Highway was produced in 2016 and distributed to residents and tourists. (Fig.3 and 4)

The Handbook for Preservation of Townscape in Sakurai-Ward was produced in 2017.

Moreover, 180 houses along the Old Ise Highway were focused on investigated in detail and it was clarified that 80 traditional houses remained. (Fig.5)

And then, 22 vacant houses had been were found as they were abandoned without being dealt as leasing properties.

Accordingly, detailed on-the-spot survey of these abandoned houses aimed at revitalization and utilization was performed.

The interview to 13 owners was conducted and their intentions were analyzed. Measurement survey of 10 houses was performed and the some

proposals of Placemaking were produced.

After that, 3 projects were completed and 6 projects are progressing now. (Fig.6,7,8 and 9)

As a conclusion, Consequently, the Guideline of Local Architectural Culture Based Placemaking the issue and direction of Placemaking by revitalization and utilization of vacant houses were led found as follows:

- 1) The value of local architectural culture should be shared.
- 2) The requirements of residents should be reflected to Placemaking.
- 3) The professional supports about management, repairing, consultation and intermediation of vacant houses are needed.

謝辞) この研究は、2019年5月22日～26日に米国ニューヨーク・ブルックリンにて開催される edra (Environmental Design Research Association) 第50回大会にて発表予定です。調査にご協力頂いた方々に、この場を借りて深く感謝申し上げます。



Fig.5



Fig.6



Fig.8



Fig.7

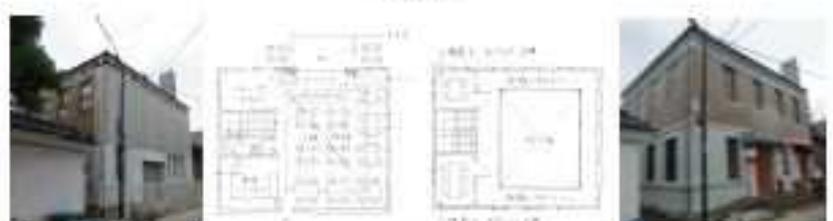


Fig.9

## ソラほんまちフェスタ2018・空き店舗活用販売実習（たまつえストア）

### 奈良県立奈良情報商業高等学校

10月27日（土）今年で第5回目となるソラほんまちフェスタ2018が本町通り商店街で開催され、本校の販売実習（たまつえストア）に多数のお客様をお迎えし大変な賑わいの中、干物・海産物、野菜、パン、生徒開発商品（アロマプレート）を販売しました。

年を追うごとに生徒の販売スキルも向上し、様々な反省点もありながら生徒は一生懸命に取り組むことが出来ました。

また、本年度は7月22日（日）、11月24日（土）、12月23日（日）に「ぜに宗」様東隣の空き店舗をお借りして販売実習を行いました。

沖縄物産展や十津川物産展、北海道利尻物産展などを行い、地元大和さくらいブランド認定の「とろプリン」を取り扱わせて頂くなど、生徒たちは様々な工夫も折り込み、高校生らしく元気に爽やかに販売実習に取り組むことが出来ました。

これからも本校がソラほんまちフェスタや地域の中で活動させて頂くことで、桜井市の皆さんに愛され必要とされる学校になるよう、次年度以降も地域の一員としての自覚を持ち頑張っていきたいと思えます。

レポート：奈良県立奈良情報商業高等学校 越水 高士



日時・場所  
平成30年 10月27日(土)  
販売開始：13時00～  
場所：本町通り三丁目駐車場



## 関西中央高等学校

### 【本町通商店街との協働授業】

関西中央高校では1年生の選択授業で桜井本町通りの活性化プロジェクトを行ないました。

この取組は、今年で5年目となります。先輩たちが取り組んできた内容を確認し、それらを引き継いでいけるポイントを探りました。その中間報告として10月の「ソラほんまちフェスタ」で、昨年同様、たまり場の前の店を1つお借りして現在考案中の提言を展示しました。

今年度は、吉田酒店の店の前に掛ける日除け暖簾を作成しました。また、昨年制作したベンチの試作品を着色・補強し、商店街に設置するべく展示しました。生徒たちは、見に来ていただいた方々から色々と参考になる意見もいただけたと喜んでいました。



### 【桜井冬のプチ文化祭】

今年度のプチ文化祭には、バトントワリング部、コンピュータ部、吹奏楽部、軽音楽部、の4団体が出演し、日ごろの練習の成果を披露しました。コンピュータ部は最新の小型コンピュータの Micro:bit を使ったシューティングゲームを披露し、注目を集めました。

また、吹奏楽部は初出場で、工夫を凝らした演奏形態にチャレンジしました。

レポート：村上 徹



## ソラほんまちフェスタ参加5年目を終えて

2014年に「地域の相互交流の場としての図書館」をコンセプトにソラほんまちフェスタに参加させていただき早5年が過ぎました。

毎年、桜井市本町通・周辺まちづくり協議会の皆様や市内3校の高等学校のご理解とご協力により生徒さん・部顧問の先生方と共に図書館フェスティバル・冬のプチ文化祭・ソラほんまちフェスタブックリサイクルを開催させていただいています。

ブックリサイクルでは、おもちゃ病院との相乗効果で500冊余りのリサイクル活用となり大盛況でした。

図書館フェスティバルでは、「子ども読未知」さんによる絵本と音楽のコラボレーションコンサートに親子が楽しそうに参加してくださいました。

冬のプチ文化祭では、来場者200名で桜井高校・関西中央高校・奈良情報商業高校3校の生徒さんによる写真展や音楽演奏会が好評で、司会・裏方と大活躍で生徒さんの自主運営的活動が「市民によるまちづくり」という本来の目的を示していただいたように感じています。

「継続は、力」という言葉を胸に2019年も素晴らしいイベントとなるよう桜井市立図書館は、みなさんと協力しながら運営していきたいと思えます。桜井市立図書館をこれからもよろしくお願ひします。

レポート：桜井市立図書館指定管理者（株）図書館流通センター  
館長 小室 茂夫



2018.08.28 毎日新聞

## 日本の風情味わう 明治の邸宅→民泊施設に

### 市の補助受け改修 来月開館



**桜井** 桜井市中心部の本町通り商店街の西側で、明治時代から受け継がれてきた材木橋・富田の邸宅を改修した民泊施設「蔵の宿 櫻亭」が完成した。四季折々の風情を楽しむ本邸や本格的な茶室を備え、日本の伝統「和」の魅力を存分に味わえる道場になっている。9月1日オープン予定。

**【山本和広】** 富田邸には二つの大 ある障壁など敷居屋造りが、30年ほど空き家状態が残り、周囲のりたすまが狭る。歴史的な今回桜井市が補助を受け、改修工事を進めた。開館は来月開館。

### 市の補助受け改修 来月開館

駅前周辺を中心に地域活性化に取り組む都民再生推進法人「桜井まちづくり会社」が市の補助を受け、約3000万円かけて改修した。施設は松風と一蘭



「蔵の宿 櫻亭」に分かれて、松風は入り母屋の風情ある玄関間を抜けると、1階に

「ルフトマン 櫻町内」をオープンした。民泊施設は男女別の企画で、管理運営を担当する。 桜井は、松風一軒が2人で1泊5万円。清風・櫻井は同5万円。いずれも追加入金が5000円かかる。 桜井は、桜井市が補助を受け、改修工事を進めた。開館は来月開館。

は、桜井市が補助を受け、改修工事を進めた。開館は来月開館。

「ルフトマン 櫻町内」をオープンした。民泊施設は男女別の企画で、管理運営を担当する。 桜井は、松風一軒が2人で1泊5万円。清風・櫻井は同5万円。いずれも追加入金が5000円かかる。 桜井は、桜井市が補助を受け、改修工事を進めた。開館は来月開館。

2019.03.27 毎日新聞

## 「特産」返礼品を模索

### 自治体間に温度差

### 自治体は今 地方選

「桜井の産物を使う」2年前に前市長が掲げた目標は、今年市議会議員選挙で実現しようとしている。桜井市は、産物を使った返礼品を模索している。桜井市は、産物を使った返礼品を模索している。

### ふるさと納税

桜井市がふるさと納税の返礼品を模索している。桜井市は、産物を使った返礼品を模索している。



桜井市がふるさと納税の返礼品を模索している。桜井市は、産物を使った返礼品を模索している。

### ふるさと納税

桜井市がふるさと納税の返礼品を模索している。桜井市は、産物を使った返礼品を模索している。

## 本町通周辺の動き

### 謎解きイベント「サクライクエスト」の開催

#### ★サクライ クエスト

リアル（現実）桜井を訪れる旅人である**あなた**がファンタジー（空想）サクライで勇者となり数々の謎を解き明かし事件を解決するイベントです。

勇者の試練（たまり場エリア）

封印された紫イワレドリ（等彌神社エリア）

謎の源（商店街エリア）

#### ★ソラほんまち探偵（たまり場フリースペース内で開催）

たまり場に届いた、贈り物の「三輪そうめん」が食べられた！

犯人を見つける手掛かりは4つ。**あなたはアームチェア・ディテクティブ**（安楽椅子探偵）となって犯人を突き止めます。

#### サクライクエスト開催の目的…

参加者の方は、地元桜井市の方であったり、観光客であったり、クイズマニアの方であったりと様々です。その方たちは JR・近鉄桜井駅から立小路（魚市場）までのエリア（たまり場エリア・商店街エリア）と等彌神社境内（等彌神社エリア）にちりばめられた、謎を解くヒントを探しながら桜井のまちを歩き回ります。そして、桜井の歴史・文化・自然などいろいろな発見をされます。

たまり場では、そういった皆さんの発見や感想に耳を傾け、まだまだ知られていない桜井の魅力という宝物を探しに「またゆっくりと遊びにきたい」と言ってくださる方をひとりでも増やしてまいります。



#### サクライクエスト実行委員会

桜井まちづくり株式会社  
明治大学マネジメントオブ  
サスティナビリティ研究所  
一般社団法人 地域デザイン  
研究センター  
株式会社 オールスマイルズ

#### サクライクエスト公式サイト

<https://sakuraimachizukuri.wixsite.com/sakurai-quest>

レポート：青木 なぎさ

## これから

当協議会が発足し、地域（周辺住民、桜井区、地元教育機関、奈良県や桜井市、図書館、各大学、商工会他関係団体等）の皆様のご支援のもと、8年目を迎えることができました。協議会会員一同本当に感謝申し上げます。

これまで、まちづくり拠点「桜井本町たまり場」を設置した2011年より 生き生き講座・名画座・つながりカフェ等の居場所づくりを始めました。2013年から順次行われた商店街アーケード撤去後、子どもたちが楽しめるようソラほんまちフェスタを2014年より開催。2015年桜井駅南口のスーパー まねき屋撤退時には、高齢者向けの移動スーパー「とくし丸」を招致。2015年行政と大学と連携し、地域資源の発掘・調査後、木製の観光案内看板を本町通に設置。空家・空地が増え、連続した町並み景観が失われていく中、景観と空家利活用に寄与する「まちあるき&まちなみガイドマップ」を作成しました。2016年よりウッドバーニング講習会・さくらいほんまちライブラリーを開催。さらに2017年には、まちライブラリー活動の一環に加わり、JR・近鉄桜井駅南口階段下に「本の巣箱」を設置し、多くの方々に「本を通したコミュニケーション」という新しいタイプの交流を提案させていただきました。

そして、これからも「次世代の方々が来たくなるまち、高齢者の方々が安心して住めるまち、私たち自身が誇りを持って住み続けるまち」を目指し、「空町家・空店舗の利活用、良好な景観づくり、高齢者と若者が交流できる場づくり等」できることから取り組んでいきますので、引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

桜井市本町通・周辺まちづくり協議会 会長 小西 宗日出

## 新入会員の募集

当協議会の活動で議論したり一緒に汗を流したり、自分たちの手でイベントを手掛けたり、地域の人たちと交流したりしながら、みんなで地域づくりを実践しましょう！

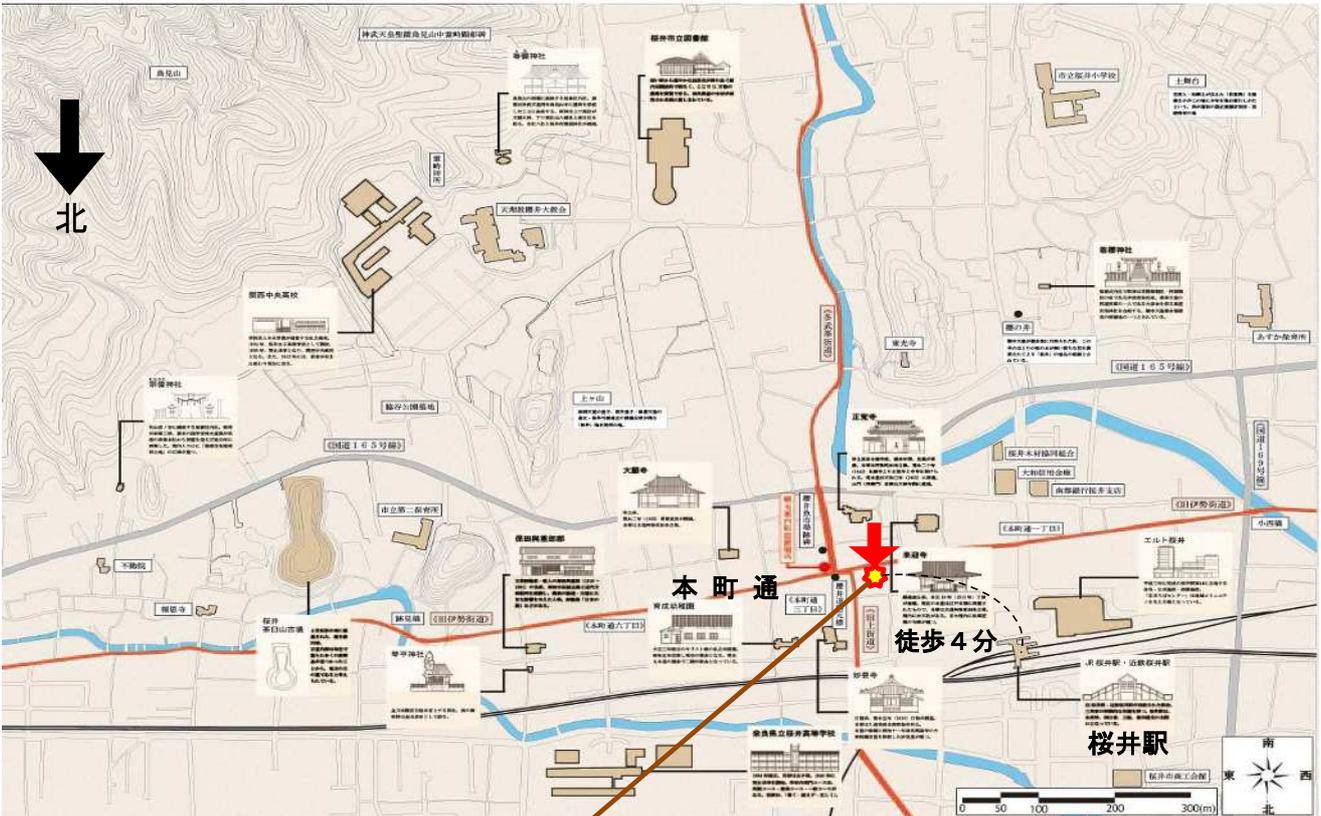
地域貢献活動を通して自分の役割・存在価値を見つきたい方、地域を知り、地域に共感し、小さなことからでも実践したい方をお待ちしております。

## 桜井本町たまり場の開催イベント及びまちづくり活動

- ・つながりカフェ（毎月第一火曜日開催）
  - ・名画座（毎月第三水曜日開催）
  - ・ウッドバーニング講習会（毎月第三土曜日開催）
  - ・生き生き講座（不定期開催）
  - ・さくらいほんまちライブラリー（不定期開催）
  - ・本の巣箱（随時）
  - ・空家利活用の推進活動（随時）
  - ・景観啓発活動（随時）
  - ・役員会（毎月第二水曜日開催）
  - ・定例会（毎月第三木曜日開催）
- 
- ・野菜朝市（毎週火曜日午前中開催）  
協力：畑楽（NPO 人・モノ・支援センター）

# アクセス

## さくらいまちあるきマップ



桜井本町 たまり場



### お問い合わせ先

桜井市本町通・周辺まちづくり協議会  
〒633-0091 桜井市桜井 933 (桜井本町 たまり場)  
TEL/FAX : 0744-45-1322 MAIL : sakurato@peace.ocn.ne.jp